

# 諏訪地方社保協 ニュース

諏訪地方社会保障推進協議会  
2025 年 12 月 1 日発行  
12 - No.2  
下諏訪町矢木町 214 南信勤医協内  
TEL : 0266-28-3071(代)  
メール: suwasyahokyo2021@skhp.or.jp  
ホームページ: “諏訪社保協”で検索

## 2025 年度自治体キャラバン 要望書提出しました

社保協は今年度も自治体キャラバン要望書「社会保障制度改善等に関する要望書」を、11 月 7 日に諏訪 6 市町村長と広域連合長（介護保険関連）に提出しました。（要望書全文は社保協 HP 掲載）

今年度の要望項目は

- ①、健康保険証とマイカードの一本化について
- ②、国民健康保険制度の改善
- ③、介護保険・高齢者施策
- ④、生活保護と低所得者施策について
- ⑤、子どもと家庭の支援
- ⑥、障がい者施策
- ⑦、その他 の 7 項目約 50 要望としました。

主な項目として、

①では、従来の保険証が使い続けられることと、国保加入者でマイ保険証を持たない人には無保険者を生じないよう、資格確認書を役所が発行し続けることを求めています。

②では、国保税は保険医協会の 25 年度市町村アンケートでは、特に岡谷市は 19 市中トップ（全県 3 位）、下諏訪町は全県 4 番目の保険税で高くなっていることを指摘し、基金の活用や一般会計からの繰り入れを行う等で保険税の引き下げを求めています。（裏面参照）また、OTC 類似薬の保険適用除外をしないよう国に要請すること等も求めています。

③では、訪問介護事業の報酬引き下げによる、事業者圧迫や利用者サービス低下の懸念に対し、先行して支援を行っている新潟県村上市のような財政支援を求めています。又、不足する介護人材の解消策を具体的に求めています。（右グラフは県・諏訪、訪問介護事業者数推移）

④では、クーラー設置を必要とする方にはすべて設置できるようにすること。又、無料低額診療事業は厚労省への申請では県関係では 20 医療機関が実施登録されていました（11 月末に 17 機関）。ところが県が公表してるのは共立病院も含め 10 施設（右表）です。そこで特に政策医療を担っている公立・公的病院に係る市町村から実施の提案をするよう要望しています。

⑤では、49 市町村に広がった子ども医療費窓口無料は諏訪地域では原村のみ実施ですので、同制度の早急の実施をすることを、諏訪地域で 4 市町実施の入院食費助成と

合わせて行うよう求めています。

⑥では、3 障害で格差の生じている、精神障害者の入院費助成について求めました。

⑦では、ここ数年で導入が進んだ補聴器購入助成について、年齢、助成額の拡大や所得制限の撤廃を求めています。

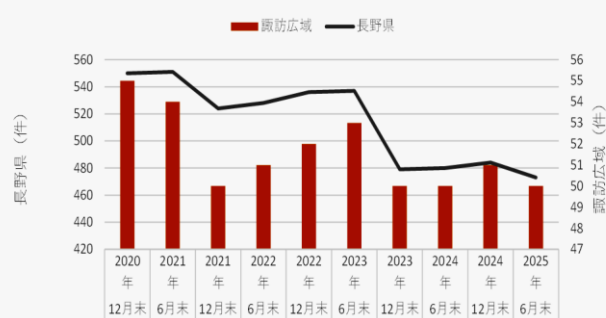
今後、年内に回答を各自治体よりいただき、年明けから市町村懇談を行っていきます。特に富士見町は、今年、新町長が就任されたことから、町長との懇談も申し入れています。

無料低額診療実施医療機関（県公表）

所管	医療機関名
長野市	賛育会クリニック
"	長野中央病院
"	栗田病院
松本市	松本協立病院
県	諏訪共立病院
"	塩尻協立病院
"	健和会病院
"	上伊那生協病院
"	やすらぎクリニック須坂
"	上田生協診療所

＜補足＞ 厚労省医療情報ネットには、諏訪地域では組合立諏訪中央病院、厚生連富士見高原病院も登録されており、公立・公的病院こそ無低診事業（さらには無料低額調剤事業も）の実施が望まれます。

減り続ける訪問介護事業所



保険証交付等市町村アンケート結果比較（諏訪地域）								県保険医協会2025年6月調査より							
市町村		岡谷市		諏訪市		茅野市		下諏訪町		富士見町		原村			
モデル世帯		所得 2 5 0 万円（賦課標準額 2 1 7 万円） 資産 3 万円、大人 2 人子ども 1 人世帯（2025.1.1時点）													
合計保険料（税）	試算額	418,371		389,072		411,088		416,894		382,534		372,114			
	順位(24年)	3（11）		21（42）		9（13）		4（14）		33（28）		48（61）			
	対所得%	16.7		15.6		16.4		16.7		15.3		14.9			
前年増減額		0		13,394		9,517		16,378		0		12,934			
応能/応益 2025年	応能%	54.40		56.72		62.00		62.80		56.90		65.63			
	応益%	45.60		43.28		38.00		37.20		43.10		34.37			
応能/応益 2024年	応能%	61.10		56.20		67.00		63.40		54.64		63.69			
	応益%	38.90		43.80		33.00		36.60		45.36		36.31			
協会けんぽ比		2025年		2.03		1.89		1.99		2.02		1.85		1.80	
マイナ登録状況	交付対象世帯	5232		5715		6623		2258		1931		1313			
	マイナ登録世帯	4802		5115		6321		1919		1607		1343			
	登録率	64.2		62.5		64.9		60.4		54.6		64.1			

県保険医協会の 25 年度自治体アンケートでは、保険料（税）は岡谷市、下諏訪町、茅野市で特に高くなっています。これら自治体は前年比較で、所得の多い世帯の負担（応能割＝所得割）は減少させ、家族（子ども）が多い世帯の負担（応益割＝平等割＋均等割）を増やしており、所得が少なく家族の多い、特に子育て世帯等の負担感が高まる傾向となっています。

長野県の医療・介護の危機を乗り越える  
11.1 いのちまもる県民集会



11月1日、長野市のJAアクティフホールに170名、オンライン40名の参加で成功しました。諏訪地域からも現地やオンラインで参加しました。県民医連佐野会長が開会あいさつ、県社保協藤本事務局長が基調報告、その後のリレートークは、難病連会長や、県社協福祉人材センター所長、県介護福祉会長、県看護協会会長など9名が、それぞれの立場で医療・介護従事者や利用者の立場からの発言を行いました。

講演は今年の当社保協総会でも講演していただいた日本医療総合研究所の寺尾正之さん。「医療・介護の基盤インフラを充実し、安心できる地域づくりを」とのテーマで行われました。「超高齢社会に医療介護は基盤インフラであって‘負担’ではなく、日本の経済を元気にする力」と、分かりやすくお話をいただきました。その後、安心して住み続けられる地域づくりをめざそうと集会アピールを上げました。

「訪問介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める」陳情は趣旨採択

（諏訪広域連合議会）

諏訪広域連合議会本会議は9月26日開かれ、昨年不採択にされ、再提出した社保協の上記陳情は、委員会審査は「趣旨採択」でした。これに対し、山口富士見町議（共産）は「昨年の6月富士見町議会は同請願を全会一致採択した。昨年、認知症基本法が施行され、認知症の方が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう基本理念が掲げられたが、これに逆行する訪問介護の報酬引き下げが行われた。高齢になっても住み慣れた地域に住み続けられるようしっかりと支援をしなければならないが、今改定は中山間地域などの遠方でコストのかかる事業所へ打撃を与え、訪問介護を担ってきた事業者を支援するために採択を（要旨）」と、主張しました。一方、野沢下諏訪町議（公明）は「昨年の改定は看取り期への対応、中山間地域に移動への加算などもされ、利用者も事業者もメリットとなる。次期改定に反映させるべき（要旨）」と趣旨採択を主張しました。起立採決の結果、出席20名中、原村、富士見町議会と共産党議員合わせて7名の議員が「採択」の立場でした。国へ意見書提出をしない趣旨採択にはなりましたが、原村や富士見町議会は昨年の社保協提出の請願を全会一致で採択し意見書を提出したので、それが反映するよう‘採択’の立場をとってくれました。同請願の全県採択状況：採択69（意見書70）、趣旨採択9、不採択1

今後の主な日程（詳細は事務局まで）		12/20（土）諏訪労連学習会 “‘26 春闘と公共の再生 イノベーションへの問題を中心”（県労連 茂原事務局長 13：30～14：30）
12/2（火）保険証廃止から1年、保険証をもとに戻せ院内集会&デジタル庁講義行動（Web14時15分～衆議院第二会館）		12/24（水）民医連介護ケア署名行動 13：30～ 綿半スパーセンター諏訪
12/7（日）中央社保協秋の国保改善運動交流集会（Web10：30～16：30）		12/26（金）社保協幹事会（18時～ Web、ひまわり薬局2階）
12/20（土）SOSおたけすわ 年越し村（10時～矢木町会館）		26年1/24（土）県社保協介護改善運動交流集会 13時～（長野市・Web）